

つるおか

市議会だより

令和2年

3月定例会号
●R2.5.1発行

Vol.62

だより

湯田川温泉 梅林公園内の竹林

3月定例会の概要	P 2
委員会審査	P 6
総括質問	P 8
一般質問	P 10

議会の概要

令和2年度予算、
元年度補正予算など
56件を審議

3月定例会は、3月3日に開会し、市当局が45件の議案を提出しました。請願4件については、所管の常任委員会に付託しました。
上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書4件を含め審議し、23日間の会期を経て、3月25日に閉会しました。
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3〜4頁)

市当局が2年度予算を含む議案45件を提出

開会初日は、市当局が予算議案12件、条例議案21件、事件議案10件、人事案件2件、計45件の議案を提出し、各会派を代表して5人の議員が総括質問を行いました。

(総括質問の内容は8〜9頁)
上程された議案は、予算議案

は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

次に、議第44号及び議第45号の2件を審議し、表決の結果、全員賛成で同意しました。
(人事案件の内容は下段)

予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

開会2日目に、予算特別委員会を開催し、付託された予算議案のうち、元年度補正予算議案3件について審査を行いました。提案説明の後、質疑を行い、表決の結果、全員賛成で可決しました。

20人が一般質問

5日、6日、9日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、



20人の議員が市政全般について質問を行いました。

元年度補正予算議案3件を 全員賛成で可決

10日の本会議では、予算特別委員長が補正予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第1号から議第3号までの3件について全員賛成で可決しました。

また、本会議終了後、予算特別委員会を開催し、2年度予算議案9件についての提案説明の後、各分科会に分割付託しました。

各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

11日に総務、12日に市民文教、13日に厚生、16日に産業建設の各常任委員会を開催しました。
常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、引き続き、予算特別委員会分科会として、予算議案の審査を行いました。

(委員会審査の内容は6〜7頁)
また、厚生及び産業建設常任委員会では、付託されていた請願の審査を行いました。

請願4件を不採択 予算特別委員会で分科会報告

24日の本会議では、意見書提出を求める請願について各所管の常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第1号から請願第4号までの4件は賛成少数で不採択としました。

また、本会議終了後に予算特別委員会を開催し、各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決しました。
最後に、委員が議第4号に関する附帯決議案を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

意見書3件を可決、条例・事件・ 予算議案は全員賛成で可決

議会最終日の25日、議員提出の意見書4件を審議し、議会第1号から議会第3号までの3件は表決の結果、全員賛成で可決し、議会第4号は討論の後、表決の結果、賛成少数で否決しました。

次に、各常任委員長が条例及び事件議案、予算特別委員長が2年度予算議案についての審査報告を行い、表決の結果、議第4号から議第43号までの40件を全員賛成で可決しました。

続いて、議員が議会第5号の附帯決議案を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。
(附帯決議の内容は5頁)

最後に、市当局が追加議案2件を提出し、質疑の後、表決の結果、議第46号及び議第47号は全員賛成で可決しました。

人事案件の結果

固定資産評価審査委員会委員

山本 節子 氏 (大塚町)

人権擁護委員候補者

相澤 康夫 氏 (湯湯海)

3月定例会日程

3日	本会議 (総括質問)
4日	予算特別委員会
5・6・9日	本会議 (一般質問)
10日	本会議、予算特別委員会
11・12・13・16日	常任委員会
24日	本会議、予算特別委員会
25日	本会議

▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第1号	令和元年度鶴岡市一般会計補正予算（第6号）	予算特別	
議第2号	令和元年度鶴岡市後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第3号	令和元年度鶴岡市病院事業会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第4号	令和2年度鶴岡市一般会計予算	予算特別	
議第5号～議第9号	令和2年度鶴岡市特別会計予算	予算特別	
	国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、休日夜間診療所、墓園事業の各特別会計		
議第10号	令和2年度鶴岡市病院事業会計予算	予算特別	
議第11号	令和2年度鶴岡市水道事業会計予算	予算特別	
議第12号	令和2年度鶴岡市下水道事業会計予算	予算特別	
議第13号	鶴岡市公文書等の管理に関する条例の制定について	総務	
議第14号	鶴岡市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	総務	
議第15号	鶴岡市監査委員条例の一部改正について	総務	
	識見を有する者のうちから選任された監査委員を常勤から非常勤とする等の改正を加えるもの		
議第16号	鶴岡市職員等の旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務	
議第17号	旧ホテル雷屋解体工事請負契約の締結について	総務	
	当該工事について、株式会社山本組と1億7,545万円で契約締結するもの		
議第18号	鶴岡市屋内多目的運動施設整備工事請負契約の締結について	総務	可決 (全員賛成)
	当該工事について、マルゴ・十和・三浦特定建設工事共同企業体と13億4,200万円で契約締結するもの		
議第19号	中川代辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第20号	川代山辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第21号	桜ヶ丘辺地に係る総合整備計画の策定について	総務	
議第22号	大網辺地に係る総合整備計画の一部変更について	総務	
議第23号	鶴岡市印鑑条例の一部改正について	市民文教	
	印鑑登録事務処理要領の改正に伴い、印鑑の登録を制限する者から成年被後見人を除き、意思能力を有しない者を加えるもの		
議第24号	鶴岡市水難救助員設置条例の廃止について	市民文教	
議第25号	鶴岡市生活環境保全条例の一部改正について	市民文教	
議第26号	鶴岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	市民文教	
議第27号	鶴岡市史跡松ヶ岡開墾場設置及び管理条例の制定について	市民文教	
	史跡松ヶ岡開墾場を公の施設として適切に管理運営するために必要な事項を定めた条例を新たに制定するもの		
議第28号	鶴岡市消防団条例の一部改正について	市民文教	
	消防団員の定員を実態に合わせ改正するもの		
議第29号	鶴岡市障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例の制定について	厚生	
議第30号	鶴岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	厚生	
議第31号	鶴岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	厚生	
議第32号	鶴岡市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	厚生	

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第33号	鶴岡市立荘内看護専門学校設置条例の一部改正について 授業料に加え入学金も減免することができるよう所要の改正を行うもの	厚生	
議第34号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について 森林環境譲与税基金を新たに設置するもの	産業建設	
議第35号	鶴岡市手数料条例の一部改正について	産業建設	
議第36号	鶴岡市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	産業建設	
議第37号	鶴岡市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	産業建設	
議第38号	鶴岡市公共下水道条例の一部改正について	産業建設	
議第39号	鶴岡市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	産業建設	可決 (全員賛成)
議第40号	財産の無償譲渡について 公益財団法人山形県林業公社と締結した分収造林契約に基づく収益分収権及び造林木の共有持分の一部を譲渡するもの	産業建設	
議第41号	くしびき温泉ゆーTownの揚湯ポンプ落下事故に係る損害賠償の和解について	産業建設	
議第42号	建物の無償貸付けについて 行政財産としての用途が廃止となる大平農作業準備休憩施設の建物を大平高原わらび園組合に無償で貸し付けるもの	産業建設	
議第43号	土地の無償貸付けについて 建物を民間譲渡した温海温泉の活性化施設の底地を当該施設を運営している株式会社YUKAIに無償で貸し付けるもの	産業建設	
議第44号	鶴岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について	省略	
議第45号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	同意 (全員賛成)
議第46号	令和元年度鶴岡市一般会計補正予算(第7号)	省略	
議第47号	財産の取得について 小学校教師用教科書及び小学校教師用指導書を取得するもの	省略	可決 (全員賛成)

▼議員提出議案(意見書・附帯決議)と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第2号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書の提出について	省略	
議会第3号	新型コロナウイルス感染症対策の抜本的強化に関する意見書の提出について	省略	否決 (賛成少数)
議会第4号	「桜を見る会」問題の徹底説明に関する意見書の提出について	省略	
議会第5号	議第4号 令和2年度鶴岡市一般会計予算に関する附帯決議について	省略	可決 (全員賛成)

▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第1号	看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出に関する請願	厚生	不採択 (賛成少数)
請願第2号	介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書の提出に関する請願	厚生	
請願第3号	自家増殖を原則禁止とする種苗法「改定」の取りやめを求める意見書の提出を求める請願	産業建設	
請願第4号	日米FTA(自由貿易協定)交渉に関する意見書提出を求める請願	産業建設	

3月定例会の ポイント

令和2年度予算 附帯決議 羽黒山随神門前・善寶寺 公衆トイレ整備事業

令和元年9月定例会では、善寶寺公衆トイレの建替えについて、県と市合わせて3分の2を補助する1,400万円の補正予算が提案されましたが、「緊急性がない」、「3分の2という高い補助率に妥当性がない」などの理由により予算特別委員会産業建設分科会において賛成少数で否決されました。この結果を受けて、市当局は当該予算を削除する議案の訂正を求め、訂正された補正予算案を全員賛成で可決しました。

今回の3月定例会で提案された2年度予算では、善寶寺公衆トイレ整備について2分の1を補助する976万8,000円が計上されたのに対し、羽黒山参詣道入口の随神門前トイレの整備については全額公費負担として4,000万円が計上されました。同じ公衆トイレ整備でありながら負担割合に大きな差があることから委員会において多くの質疑がありました。

予算特別委員会産業建設分科会における質疑

問 同じ公衆トイレの整備でありながら、負担割合に違いがあるのはなぜか。

答 羽黒山は市の土地に市が整備することから全額公費、善寶寺は民間の土地に民間が整備することから一定の補助を行うという整理をしたもの。

2年度予算案は本会議において全員賛成で可決しましたが、随神門前トイレは市有地のほか無償貸借の民有地も含めた整備が計画されていたことから、議員が附帯決議案を提出し、提案説明の後、全員賛成で可決しました。

—附帯決議—

事業実施にあたっては次のことに十分留意するよう求めるもの。

- ①羽黒山随神門前トイレと善寶寺トイレの両整備事業の整合性をしっかり説明できるよう計画を作成し予算執行すること。
- ②市有地と民有地の使用割合という疑問点解消のため、土地の無償譲渡、交換、設計変更等必要な措置を迅速に実行すること。

附帯決議とは

議決にあたって付随的に付けられる意見や要望の決議。法的拘束力はないが、執行部はこれを尊重することが求められる。



令和元年度補正予算 新型コロナウイルス 感染症対策

定例会最終日の3月25日、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、小中学校臨時休業等への対応のほか、2月以降予約キャンセルが1万人を超えるなど収益が悪化している市内宿泊施設や飲食店の利用促進等の取組に係る補助金を計上した補正予算案が提出され、質疑の後、全員賛成で可決しました。

小中学校の臨時休業に伴う対応 ……全て国が補填

- ・学童保育所委託料及び補助金の増額 約1,800万円
- ・保育所・学童保育施設でのマスクや消毒液等の感染拡大防止対策用品の購入費

宿泊・飲食業への緊急支援 ……1億円

- ・宿泊料最大5,000円、市内飲食店で利用可能な飲食券最大3,000円を配付するもの。

※4月17日に事業開始を予定していたが、感染症の状況等を勘案し、当面の間、開始時期を延期することとした。

委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の
委員会に付託して審査します。
(審査の主なものに掲載します。)

総務常任委員会

監査委員の非常勤化の内容は

委員 監査委員からの申出を踏まえた非常勤化との説明であるが、監査委員を常勤としている市はどの程度あるのか。また、非常勤となった場合の任期と報酬月額の根拠は。

監査委員事務局長 全国都市監査委員会の調査では、令和元年10月現在、人口10万人以上25万人未満の都市174市のうち常勤監査を置いている市が27市、15・5%となっており、この中で10万人台の都市に限定すれば更に割合が低くなる。また、25万人未満の市全体で見ると701市のうち39市、5・6%となっており、常勤監査委員を置いている方が少数派となっている。なお、任期は変更なく4年である。

職員課長 報酬月額は、県内他市で非常勤を置いている市から自治体の規模的に適当と思われる複数市を選び、その範囲内での適切な額、加えて、監査対象となる行政事務の規模、標準財政規模等を勘案して、22万2,000円とした。

委員 本人からの申出とはいえ、

市の監査体制をどうしていくのかという議論がなされていたのが見えてこない。監査体制について、当局内で議論した経過はあるのか。

職員課長 県内では、山形市、米沢市、寒河江市が常勤を置いており、その他の市は非常勤のみとなっている。県外の類似団体でも非常勤が多数であり、非常勤化の可能性がないのかというレベルでは検討をしていた。こうした中、本人から申出があったことを受けて改めて検討し、今回の提案に至ったものである。

予算特別委員会 総務分科会

過去最大規模（一般会計約741億円）となった予算編成の考え方は

委員 2年度末の市債残高が約823億円と見込まれ、市債依存度も悪化している状況において、過去最大の予算規模となっている。予算編成の考え方と財政状況の市民周知の取組は。

財政課長 普通交付税の段階的縮減、大型事業に係る市債償還額の増、人口減少に伴う歳入減等を勘案して、それらに見合った歳出構造に転換し、これにどう対応していくかが予算編成の課題であった。

た。これまでは、各課に経常経費のシーリングを課す一方で、政策的経費はこの対象から除外していた。2年度の予算編成では、一般財源ベースで5億円減を目標に各部に削減額を示し、新規事業を計画する場合等は、その枠内で工夫するよう全庁挙げて取り組んだ。その見直し額は、このたびの編成では限定的なものとなったが、今後もこのような方向性で進めていくものと認識している。また、市民周知については、毎年度、広報等で財政上の課題をお知らせしているが、まだまだ工夫の余地はあり、引き続き検討していきたい。

予算特別委員会 市民文教分科会

マイナンバーカードの取組は

委員 マイナンバーカードの予算が大幅に増額となっているが、今後の取組の内容は。

市民課長 マイナンバーカードの



交付率が全国的に伸び悩んでいることから、交付を促進するため、元年9月に国から全国の自治体に対し、交付円滑化計画を策定するよう要請があった。現在も市民への呼び掛け、広報等による周知、月1回の休日窓口開設などにより交付促進に努めているが、この要請を受け、2年度は会計年度任用職員を3人増員し、週1回、平日の受付窓口を午後7時まで延長したり、休日の窓口開設を月2回に増やしたりするほか、申請時に窓口で本人確認すれば、後日、本人限定郵便により自宅で受取りができる申請時来庁方式や、企業などに出向き申請を受け付ける出張申請方式なども導入し、更なる交付率の向上を図っていく。



心電図伝送システムの内容は

委員 新たに救急車に搭載される12誘導心電図伝送システムの内容及び搭載される台数は。

消防本部総務課長 荘内病院、日本海総合病院、鶴岡協立病院など

と連携し、急性心筋梗塞などの心疾患患者の心電図データを、救急現場から搬送先の病院にあらかじめ電送することで、受入判断や処置の準備を早めにしていただくものであり、救急車8台に搭載する。

予算特別委員会 厚生分科会

病児保育事業の事業概要は

委員 病児保育事業の現状と令和2年度の事業概要は。

子育て推進課長 現在は「カトレアキッズルーム」が定員2人で病児保育を実施しているが、2年度は新たに「ちわら菜の花こども園」でも定員2人で実施予定であり、委託料はほぼ倍額を計上している。このほか南部保育園でも定員3人で実施する準備を進めており、計7人の受入れが可能となる。



令和2年4月に開園した
ちわら菜の花こども園「はなな」

放課後児童クラブの新設予定は

委員 放課後児童対策事業について、2年度新設予定のクラブ数と定員規模は。

子育て推進課長 2年度は二つのクラブが新設される予定であり、「キッズドームソライ」は定員40人、「ばあば・ままキッズ」は定員10人の予定で準備を進めている。

ロタウイルス予防接種の対象者は

委員 2年度からロタウイルス予防接種が定期予防接種となるが、その対象者数は。

健康課長 2年10月から定期予防接種として指定されるものである。対象者は2年8月以降に生まれる乳児であり、390人を見込んでいる。

予算特別委員会 産業建設分科会

堆肥製造施設の再編は

委員 藤島及び羽黒の堆肥製造施設に関し、平成30年度決算において、広域的な需給体制と関係施設の再編を検討する必要があるとしていた。行財政改革の観点から見直しを図るべきだが、検討状況は。

農林水産部長 循環型農業を進め

ていく上では、良質な堆肥を安定的に供給していくことに力を入れていかなければならないと考えている。広域センター化は、最近、不特定多数の養豚農家が一所所に集まることについて、豚熱(CSF)等防疫管理の面で課題がある。と専門家から指摘されているほか、豚糞の運搬ルートの変更という問題もあり、厳しい状況にあると理解している。どの形態が養豚農家にとってプラスになるのかという視点で引き続き検討していく。



藤島エコ有機センター(左)と
羽黒高品質堆肥製造施設

FOODVEVERの今後の運営は

委員 FOODVEVER情報発信業務の委託先はどこか、また、今後の運営の方向性やFUIDO社との関係はどうなるか。

商工観光部長 当該業務は、F O

ODVEVER内の情報発信スペー

スにおけるパネル等の入替えやその他情報発信を行う業務であり、元年度は、庄交コーポレーションに委託している。2年度については、今後契約執行手続等を経て受託者が決まる。また、FUIDO社がFOODVEVERの管理運営業務から撤退した場合は、市が管理運営を行うことになるが、FUIDO社からはまだ回答をもらっていないため、今後も継続して協議を行っていく。

日帰り温泉施設の見直しは

委員 長沼温泉ぼっぱの湯とくしびき温泉ゆーTownは赤字運営であり、事業の在り方を見直すべき時ではないか。また、温泉施設としての在り方として健康・福祉施設としての位置付けも考えられるのではないか。

商工観光部長 施設の運営は厳しい状況にあり、行財政改革を行う中で、各公社の経営を統合する、あるいは、温泉施設を福祉的な保養施設にするなど、様々な案を持って検討しているところである。施設の在り方として各地域にとってどうあるべきかということも考えながら結論を出していきたい。

総括質問

市長提出議案に対して、
会派を代表して質問します。
各議員1項目について概要をお知らせします。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」

本会議の録画配信を行っています。



YouTube 鶴岡市議会



質問の全部は、議会ホームページ等で公開している録画中継や会議録をご覧ください。

原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

鶴岡市の財政状況と財政的な課題は

新政クラブ 尾形 昌彦 議員



議員 鶴岡市は平成29年度、30年度と2年連続実質単年度収支は赤字となり、積立基金の合計額（＝

貯金）が減り、市債残高（＝借金）が増えている。財政状況をどう分析し、財政的な課題をどう捉えているか。

市長 普通交付税の段階的縮減が令和3年度まで継続し、ごみ処理施設や一般廃棄物最終処分場の整備といった大型事業の財源に市債を充てることから市債残高が増え、各年度の公債費も増加する見込みである。課題は、類似団体と比べて面積が広いことなどにより、行政コストがかさむ構造になっていることである。広い市域の中で旧鶴岡市と旧町村がともに発展するコンパクト・アンド・ネットワークを効果的に構築し、産業基盤の強化やインフラをはじめ、生活環境を維持するための財源をしっかり確保していくことが、財政上の大きな課題と捉えている。

ほかの質問

予算編成方針、高速交通網の整備、人口減少対策

地域まちづくり未来基金・事業の展望は

新政クラブ 石塚 慶 議員



議員 市長公約50億円に對して基金金額の進捗は。市長 基金の積立と同事業に充てた市債の合計額を同基金の金額としている。2年度当初予算を含め、これまで基金残高2.2億円、基金充当額6.3億円、起債充当額1.7億円、合計10.2億円となっている。

議員 市長任期4年での公約50億円実現の見通しと対策は。

市長 本基金は、地域社会、コミュニティの振興及び均衡ある発展を目的としている。各地域振興懇談会等の意見を踏まえ策定した地域まちづくり未来事業計画を、本基金の活用により財源のめどを示しながら進める仕組みを構築できたことに意義があり、所期の目的は果たせたと考えている。今後も財政健全化との整合性を図りつつ、基本的には積立金の範囲において、地域の個性と創意工夫が発揮されるよう事業に取り組む。

ほかの質問

少雪対策、新型コロナウイルス感染症対策、災害対策 など

消費税10%増税後の本市への影響は

日本共産党鶴岡市議団 山田 守 議員



議員 消費税率10%の増税後、新たな消費不況に突入している。本市経済への影響は。

市長 昨年10～12月の新車登録台数が累計21・9%減と顕著な落ち込みとなり、鶴岡商工会議所の景況調査では、全業種の業況判断指数が31・2ポイント減となり、今期水準、来期見通しともに、マイナス値が続いている。12月水準で建設業以外の各業種がマイナスとなっている。

議員 ポイント還元の対象は中小・零細店だが、約7割が不参加であり、増税で売上げが減少した上、ポイント還元参加店に客を奪われ、二重の打撃を受けている。本市での影響は。

市長 ポイント還元参加店舗では、業務効率改善に効果があった反面、入金期日の変化により資金繰りに困ったという声もある。今後もキャッシュレス決済導入の恩恵を受けられるよう周知を図っていきたい。

ほかの質問

国保減税、荘内看護専門学校改築、防災・減災対策

出羽三山が観光の柱

市民クラブ 石井 清則 議員



議員 国や地方でインバウンド観光に取り組み中、キャパシティ以上の観光客が押し寄せるオーバーツーリズムが問題となる地域も出ている。一方、訪日外国人のうち東北地方への観光は1～2%というデータがある。東北の県・市町村が、同じ思いを共有できるかが課題と考えるが、今後の本市の取組は。

市長 訪日外国人観光客の全国に占める東北の割合は、1・7%にとどまっている。しかし、世界的に人気の高い旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が発表した2020年のおすすめ旅行先では、東北地方が世界第3位、中でも出羽三山は東北一番の体験として紹介された。仙台市が実施している東北32都市の観光案内所と連携した東北周遊を促進する取組や、出羽三山を柱としたコンテンツの充実などに、地域の関係者と一体となって取り組んでいく。

ほかの質問

財政運営、官民連携の在り方、農業

新たな財源確保に取り組むべき

鶴岡市議会公明党 黒井 浩之 議員



議員 大型投資事業により2年連続過去最大の予算となっている。中長期的見通しとして市債残高と公債費の将来推計は。

市長 市債残高は令和2年度末をピークに、公債費は5年度の92億円をピークに減少を見込んでいる。早期に実質単年度収支の黒字化ができるよう努力する。

議員 企業版ふるさと納税も4月から拡充される。企業に積極的に働き掛けるべきではないか。
市長 地域再生計画を作成し、総合戦略に基づく事業への寄附が税制優遇の対象となるように準備を進めている。

議員 新たな財源確保に向けた行財政改革プランの進行状況がまだ公表されず、速やかに市民に知らせるべきだ。現時点でどのように総括しているのか。
市長 効果額は議会資料に掲載してきた。これまでの取組の総括として2年度の行財政改革推進委員会から提示したい。

ほかの質問

少雪対策

教職員の 変形労働時間制導入は

加賀山 茂 議員



議員 1年単位での変形労働時間制導入を盛り込んだ公立学校教職員の給与特別措置法が成立したが、教職員に閑散期はないに等しく、勤務形態は今後どのように変わっていくのか。

教育長 変形労働時間制により、4・5月など繁忙期の勤務時間を長く設定し、夏季休業中などにまとめて勤務を要しない日を設定することが可能になる。一方、業務内容を根本的に見直さないうまま制度を実施することで、繁忙期の長時間労働を助長しかねないというリスクもある。制度に関し、先行事例の検証を行うとともに、学校内での業務内容の見直しに取り組みたい。

ほかの質問
なし

若年人口定住の取組は

小野由夫 議員



議員 若年人口の定住の受入れの観点から、市営住宅の入居状況は。また、若年世帯を優先的に受け入れるため、市営住宅に入居する際の所得要件を緩和する考えはないか。

建設部長 3月現在の入居者は1,111人で入居率80%、中でも高齢単身世帯の割合が高い。本市の市営住宅には「子育て世帯向け住戸」を33戸整備しており、令和元年度も希望者全員が入居している。市営住宅は一定の収入以下で住宅に困っている方のために設置されているもので、公営住宅法と市条例により目的と利用が限定されており、所得の高い世帯は入居できない。

ほかの質問
新型コロナウイルス感染症対策

一般質問

市政全般について考え方や方針などを
市当局に質問します。
各議員1項目について概要をお知らせします。

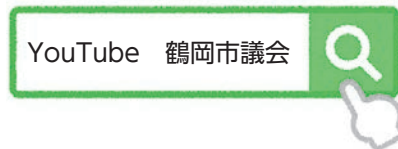
質問の全部は議会ホームページ等で公開している議会中継や会議録をご覧ください。
原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。
※総括質問を行った議員を除く18人の質問を掲載します。

YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の録画配信を行っています。



「地域医療を考える 市民委員会」の取組は

田中 宏 議員



議員 「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」の位置付けとこれからの進め方は。

健康福祉部長 同委員会は、様々な地域医療の課題に直面している中、市民に地域医療の現状を理解し関心を持っていただくとともに、地域医療の目指す姿を市民とともに考え、実現することを目的に設置した。地域医療を守るために市民ができることを掲げる市民アクションプランの策定や、市民委員が中心となり地域医療の理解と普及に取り組む市民勉強会の開催につなげていきたい。宮崎県日南市の取組も参考に、市民と協働して地域医療の推進を図っていく。

ほかの質問
子どもの健やかな育ち、
全世代全対象型地域包括ケア推進プロジェクト

庄内・羽田5便化はなぜ見送られたか

秋葉 雄 議員



議員 庄内・羽田の5便化に向けた政策コンテンツへの応募が見送られた。官民挙げて要望活動を展開し、共同提案者となる全日空も前向きに検討していると聞いていたので誠に残念である。なぜ、県は手を挙げることさえしてくれなかったのか。経緯と周辺事情を伺いたい。

企画部長 全日空から県に対し「総合的に判断した結果、山形県と共同で応募するのは見送りたい」との連絡を受けたこと、県としても庄内・成田便との競合を払拭できないことなども総合的に勘案して応募を見送ることとしたと承知している。周辺事情は計りかねている。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
幼児教育・保育の「質の向上」、防災教育

全市的な無料学習支援の推進を

富樫 正毅 議員



議員 学習が遅れがちな子どもを対象に無料で学習支援を行う地域未来塾を、背景にある様々な環境を考慮しつつ推進すべきと思うが見解は。

教育部長 地域の方々の協力を得て実施する学習支援事業である地域未来塾は、令和2年度から温海地域で中学3年生を対象として新規に実施予定であり、藤島地域でも同様の実施を検討している。小学生を対象とした学習支援は、放課後子ども教室の中で実施していくので、先行する地域未来塾を参考にしながら、可能な限り児童一人ひとりに合った学習になるような方法等を検討することが重要と考える。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
自主防災組織の強化

長期滞在を促すクアオルトの取組を

阿部 寛 議員



議員 ドイツ語で療養地を指すクアオルトは、温泉や食と野山のウォーキングを組み合わせ、居住する人、訪れる人も健康になり、地域全体を発展させることを目的としている。観光資源として重要と考えるが、本市の見解は。

商工観光部長 現在本市で進めている「詣でる、つかる、いただきます」のプロジェクトと共通点があり、また、金峯山でのウォーキングと湯田川温泉の利用を組み合わせた新たな地域振興策を考える取組も行っている。今後、観光関係者や医療・健康に関連する関係機関との連携も視野に、具体的な取組を検討していきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
農林業振興

車を運転しない交通弱者への取組は

本間 信一 議員



議員 地方創生に思ったような成果が上がっていないのはなぜか。地域の住民と関係ないところで、国と自治体間だけで取組が空回りしているようだ。地域課題の一つ、車を運転しない交通弱者の移手段について見解は。

企画部長 既存の公共交通の維持や活用を図る一方で、新たな移手段の導入を進めている。路線バスが一部廃止予定の温海地域でデマンド交通実証運行を行うほか、藤島・櫛引地域でも新たな交通手段の調査研究を進めている。3年度の次期地域公共交通網計画策定に向け、地域の実情に沿った公共交通の再編に取り組む。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
まち・ひと・しごと創生総合戦略

庄内病院の労働環境の実態と改善策は



五十嵐 一彦 議員

議員 夜勤可能職員の不足により看護師の労働環境が悪化しているようだ。休暇取得状況も含め、現場の労働実態をどう把握しているか。

病院事務部長 夜勤時間・回数の施設基準は病院全体でクリアしているが、夜勤可能職員が不足する部署では基準を上回る夜勤をせざるを得ない状況も生じている。有給休暇の平均取得日数は前年から3日増えているが、一部の部署では育児休業職員等の関係で指定された休暇をとれない職員もいるため、実態を踏まえた部署間の異動を行うなど、不足する部署への適正配置に努めている。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
公共建築工事の将来展望

鶴岡市の将来的な教育デザインは



本間 正芳 議員

議員 鶴岡駅北側の児童数増加に伴う対応も含めた現時点の学校配置計画の構想は。

教育部長 保護者等の意向を確認するとともに、地域・地区別の人口推移なども勘案しながら課題等を洗い出し、研究していきたい。

議員 コミュニティスクール(※)の導入を進めているが、一番大事な地域住民への説明は終えているのか。また、小中一貫校に移行するのか。

教育部長 朝日地域においてコミュニティスクールの情報交換会を開催し、魅力等について説明した。小中一貫教育については、引き続き調査研究し、導入の仕組み等を検討していきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
小学校新学習指導要領、
新型コロナウイルス感染症対策

庄内・羽田5便化もっと早く熱意を伝えるべき!



小野寺 佳克 議員

議員 昨年9月には羽田発着枠配分の2枠増が示されていた。市長の本気度に甚だ疑問を感じる。臨む姿勢、意気込みはどうであったのか。

市長 1月7日に県の説明を受け、要望を20日から30日に変更し、庄内地域をまとめて実施した。

議員 庄内開発協議会の会長として、首長として、10月頃の早い段階で地域の思いと熱意を決定権者に伝えるべきだった。今後の取組は。

企画部長 増便、滑走路延長など庄内空港の機能拡充を図るため、県や全日空に対し粘り強く要望し、ジェットスターの搭乗者確保と定着、チャーター便の誘致など、利用者拡大を図る。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
国土強靱化地域計画

下水道施設未普及地域の整備の進捗と課題は



佐藤 昌哉 議員

議員 本市の下水道事業経営戦略では、郊外地約1,000haの未整備地域を解消するとしている。京田、栄地区等は令和2年度から6か年で管渠整備を行うとしているが、進捗と課題は。

上下水道部長 元年度末で258haを整備済みである。今後、公共下水道事業では栄・京田地区や清水新田・下興屋・下小中・中楯地区で着手し、農業集落排水事業では清水地区で国の事業採択の準備を進め、三瀬・油戸・中山地区は10年度までに整備を進める。2年度から10年度までで約153億円を見込む事業費の財源確保が課題であり、国の交付金確保に取り組む。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
公文書管理等

※コミュニティスクール…保護者や地域住民が参画する学校運営協議会を設置した学校。

ひきこもり対策の 進捗状況は



坂本昌栄議員

議員 県のひきこもりアンケート調査の検証と本市独自の実態調査は。本市のひきこもりは約1,100人と推計されるが、相談窓口の一元化や家族への支援、居場所づくりや相談支援に係る専門員の増員など、本市の今後の支援対策は。

健康福祉部長 県の調査では、庄内地域のひきこもりは減少しているが本市の相談件数は増加傾向にある。市独自に民生児童委員から情報を得て実態調査に取り組んでいく。相談窓口の一本化は他市の先進事例を参考に現状を踏まえ検討する。専門員の増員は国のひきこもりのアウトリーチ（※）支援員制度の活用を検討したい。

ほかの質問

公立学校施設の特別教室へのエアコン設置、
会計年度任用職員制度

庄内中高一貫校各校舎の 整備計画策定状況は



菅原一浩議員

議員 昨年12月に県教育委員会から県議会に対し、令和6年4月開校が示された庄内中高一貫校各校舎の整備計画は。

教育長 2年度から地質調査や基本設計及び実施設計を段階的に行い、5年度から改修工事に着手する計画である。併設型高校を現鶴岡南高校に、併設型中学校を現鶴岡北高校とするほか、教室の整備や中学校における特別室の整備、交流するための施設の工夫、中学校での給食提供の方式やそれに伴う施設設備などについても協議がなされ、骨子となることが話し合われている状況である。

ほかの質問

庄内空港の利便性向上、防犯対策、
FOODEVERの今後

破堤しない堤防づくり と流域治水政策が必要



加藤 鑽一議員

議員 流域治水対策で、国や県による破堤しにくい堤防づくりはどうなっているか。

建設部長 赤川流域の大半田地区で堤防の斜面下部のブロック補強や、馬渡・泉山地区で堤防を厚くする幅出しによる強化が図られ、堤防上面のうち国管理部分の舗装は整備済みである。

議員 堤防が浸食、破壊されなければ強烈な破壊力を持った奔流は発生しない。本市の地域防災計画には水防計画はあるが、治水計画はない。流域治水政策の取組が必要ではないか。

市長 県などと連携し、流域治水対策という観点で研究していきたい。

ほかの質問

公共交通と自治体間連携、
公営住宅の保証人制度廃止

教員の長時間労働の 実態は



長谷川 剛議員

議員 教員の長時間労働の実態は依然として深刻である。昨年12月、1年単位の変形労働制を導入可能とする改正教育職員給与特別措置法が成立したが、1日10時間労働まで可能にする制度で、労働法制の改悪だ。本市の教員の時間外勤務の状況と変形労働制の検討状況は。

教育長 通学時期に限れば、過半数の教職員が月当たり45時間以上の時間外勤務を行っている状況で、喫緊の課題と認識している。変形労働制の導入は、先行事例の検証を行い慎重に検討し、有効な取組事例の紹介などにより業務の見直しを推進し時間外勤務の減少に取り組むたい。

ほかの質問

公共施設の整備、高齢者や障害者の生活支援

SDGs未来都市の採択に向けた取組は

中 沢 洋 議員



議員 自治体が抱える課題の解決は、SDGs（※1）の考えと同じである。国は先進的な取組を進める「SDGs未来都市」を今後5年間で150都市選定し支援するが、本市の取組は。

企画部長 経済面では、鶴岡サイエンスパークにおける先端生命科学の研究の促進や多様なバイオベンチャー企業等の創出、社会面では、ユネスコ食文化創造都市として持続可能な開発に役立てる教育の展開、環境面では、出羽三山の山岳信仰等により育まれた森林文化の創造の取組を国に提案しており、令和2年度の採択を得られるよう取り組んでいきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●
コンパクトシティ、キッズドームソライ

有機・特裁米のカメムシ被害への市独自支援は

菅 井 巖 議員



議員 有機・特別栽培、鶴岡I型（農薬成分・除草剤1回のみ）の稲作で、品質・等級を左右するカメムシの被害粒や異物等を機械的に取り除く玄米色彩選別機の導入を生産者や生産組織で検討する際に、有機栽培を振興、拡大していく観点から、本市独自の導入支援ができないか。

農林水産部長 本市の独自支援は、国や県の補助事業を活用できない場合などに制度化するのが基本的な考え方である。色彩選別機の導入は国の補助事業の対象となっているため、国の事業の活用を基本とした上で、活用できない場合があれば、必要に応じて検討していきたい。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●
FOODEVER

※1 SDGs…「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略。2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、貧困や教育、エネルギーなど、17の目標で構成されている。

議員研修会を開催

2月14日、(株)地方議会総合研究所の廣瀬和彦氏を講師に招き、「効果的な予算・決算の審議手法を考える」をテーマに、議員研修会を開催しました。

予算の修正や否決、また、予算に対する議会の意思表示としての予算組み替え動議や附帯決議の提出など、全国の地方議会の事例等を踏まえ講演いただきました。

3月定例会前ということもあり、新年度予算を審議する上で大変参考になる研修となりました。



GIGAスクール構想の実現への考え方は

草 島 進 一 議員



議員 小中学校のICT（※2）整備について、国の補正予算にGIGAスクール構想（※3）実現に向けた事業費が盛り込まれている。草津市では学校政策推進課が創設されICT教育の推進を担っているが、本市の整備方針や考え方は。
教育部長 国から示されたロードマップに従い、情報活用能力の育成のための具体的な活用イメージを想定した整備を進めていきたい。本市でICT環境整備を専門にする人員等は配置していないが、一人1台端末を整備することになれば全市で所有する端末が1万台を超えるため、端末管理や研修の重要性が高まると認識している。

ほかの質問 ●●●●●●●●●●
SDGsの普及

※2 ICT (Information and Communication Technology) …情報通信技術
※3 GIGAスクール構想…児童生徒一人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に一人ひとりのニーズに応じた学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。

議員定数等検討 特別委員会

鶴岡市議会では本市にふさわしい議員定数を検討するため、市民の皆さんのご意見を聴きながら、協議を重ねています。市議会モニターとの意見交換会及び参考人意見聴取会の会議録概要は、5月中旬に市議会ホームページに掲載予定です。

1/17 市議会モニターとの 意見交換会を開催

出席した9人の市議会モニターの多くから、全国と同規模自治体と比べて定数が多いことなどを理由に議員定数を「減らすべき」の意見がありました。一方で、広大な市域で活動するためには「現状維持」「増やすべき」の意見もありました。また、全国的な課題となっている地方議会議員のなり手不足についても、委員を交えて活発な意見交換が行われました。



2/19 参考人意見聴取会 を開催

参考人として出席した市内自治組織や産業団体等の代表者ら19人から、「現在の鶴岡市議会の議員定数についてどう考えるか」「その理由は何か」をテーマに、意見を伺いました。



議員定数について「減らすべき」と「現状維持」の意見が同数となったほか、「議員活動や議会の目指すべき方向性が見えない」などを理由に「判断できない」との意見もありました。

いただいたご意見を参考に、今後も議論を深め、議員定数について結論をまとめていきます

議会傍聴 アンケート

3月定例会を傍聴された方から寄せられたご意見・ご感想（一部抜粋）を紹介します。

- ・初めて傍聴したが、大変ためになる内容だった。もっと広く市民に傍聴してもらった方がいい。今年度の鶴岡市の動き方や考え方がよく分かった。
- ・市ホームページのできればトップ画面に一般質問のリストを表示してほしい。
- ・何度か傍聴しているが、あまり変わっていないように感じた。何が重点施策なのか伝わってこない。

市議会ホームページ

市議会		新着情報	
市議会	2020年3月26日	会議結果の報告（令和2年3月定例会）	
	2020年3月23日	議案一覧を更新しました（追加議案）	
	2020年3月23日	議日程変更のお知らせ	
議員紹介		市議会の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 議長・副議長のあいさつ ▶ 議案一覧 ▶ 各種委員会 議員名簿 ▶ 会派別議員名簿 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市政と市議会 ▶ 市議会の運営 ▶ 主な議会活動 	
市民と市議会		議会だより	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 傍聴のご案内 ▶ 議院・経費 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ つるおか市議会だより（31年・令和元年） ▶ バックナンバー 	
会議の案内		議会の中身・会議録	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市議会の日程 ▶ 議案一覧 ▶ 視察・一般質問のお知らせ ▶ 会議結果 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経費中継 ▶ 会議録 	
市議会モニター		その他の市議会情報	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市議会モニター 		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 政務活動費 	

「会議の案内」には開会前に総括・一般質問や議案一覧を、閉会後には会議結果を掲載しています。

議会を傍聴される 皆さんへ

令和2年4月5日に鶴岡市管内で新型コロナウイルス感染者が確認されました。感染拡大の防止を図り、傍聴にお越しの方の健康を守るため、しばらくの間、本会議及び委員会等の傍聴を極力ご遠慮いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・YouTubeでは録画中継も視聴できます。

6月定例会日程（予定）

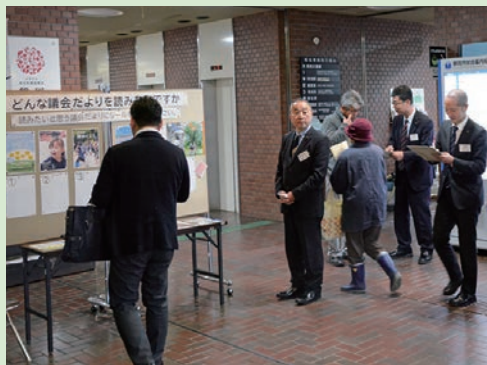
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	13
14	15 本会議 (一般質問)	16 総務 常任委員会	17 市民文教 常任委員会	18 厚生 常任委員会	19 産業建設 常任委員会	20
21	22 常任委員会 予備日	23	24 議会運営委員会	25 予算特別委員会	26 本会議 (表決・閉会)	27
28	29	30	請願・陳情 提出期限 6月2日(火)午後1時			

※各会議の開会時刻は午前10時です。
 午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。
 ※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

議会だよりの見直しを進めています

現在、広報広聴委員会では、「議会だより」がより読みやすく分かりやすいものとなるよう、アンケート調査で市民の皆さんのご意見を伺いながら、レイアウトや掲載記事の見直しを検討しております。

議会だよりに関し、ご意見やご要望等がありましたら、気軽にお寄せください。



議会の会議録を閲覧するには

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録が閲覧できます。
 ◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。鶴岡市議会のホームページをご覧ください。

編集後記

3月定例会では本市行政運営を方向付ける令和2年度予算を中心に慎重に審議が行われました。

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症対策の補正予算も審議し、経済対策などを3月25日に全会一致で議決しております。

しかし、4月に入り本市に感染者が出るなど状況は一変。対策は延期となり刻々と変わる情勢に合わせた対応が求められています。閉塞感がありますが出口のないトンネルはないと信じ、議会と行政が協力し、安全安心な市民生活の維持を目指します。

議会だよりは紙面改革を進めております。多くの方に読んでいただくためには、分かりやすく読みやすい紙面だけでなく、形態や手に取る場所など多面的な改善が必要と感じます。是非皆さんのご意見をお聞かせください。

広報広聴委員会副委員長

石塚 慶

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25
 電話 0235-25-2111 FAX 0235-25-2123
 メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

